

【タイトル】

佐藤卓と巡る、福井・敦賀を読み解くデザインリサーチプログラム
ー「あそび」は、どうデザインされるのか？ー



2026 年 10 月 23 日（金）、DESIGN MUSEUM JAPAN TOUR は福井県敦賀市へ。

今回ともに旅をするのは、デザイナー・佐藤卓さんです。

敦賀は、古くから大陸との交流の玄関口として栄え、さまざまな文化や技術を受け入れてきた町です。そしてここには、「あそびの環境をデザインすることで、未来価値を創造する。」を使命に、遊具や園舎、公共空間などを手掛ける企業・ジャクエツが本社を構えています。第一線で活躍する多ジャンルのデザイナーたちとの協働も、同社の大きな特徴です。



佐藤さんも、ジャクエツのロゴマークのリニューアルや、富山県美術館「オノマトペの屋上」の遊具制作などを通して、同社と深く関わってきました。

なぜ、敦賀という土地から、「あそび」の環境をデザインするジャクエツのような企業が生まれ、100年以上にわたり活動が続けてきたのでしょうか。そして、人を育み、未来につながる「あそび」は、どのようにデザインされているのでしょうか。

今回のツアーのメインプログラムは、ジャクエツファクトリーツアー。通常は行政・教育・福祉関係者などを対象に行われているツアーへ特別にご案内します。また、ジャクエツ創業の原点につながる幼稚園、北陸道総鎮守・氣比神宮などで実践者のお話を聞き、町の歴史や文化、人々の営みに触れながら、土地とデザインの関係を読み解いていきます。

実際にその土地に足を運び、佐藤卓さんとともに「デザイン」を発見する、15名限定の特別なリサーチプログラムです。

佐藤卓さんからのメッセージ

プロダクトからデザインを読み解き語られることはよくあることですが、プロダクトの背景にある地域や企業文化を通して育まれてきたデザインを読み解いていくプログラムはあまりなく、私にとっても初めての経験になります。このプログラムで何が浮かび上がってくるのか、楽しみにしているところです。

DESIGN MUSEUM JAPAN TOUR とは

日本各地を訪ね、その土地ならではの文化資源をデザインの視点から読み解くフィールドワークです。土地の歴史や文化、人々の営みまでをたどり、「なぜ、このデザインがここに生まれたのか」を考えます。2025年より、山梨・山形で、第一線で活躍するデザイナーや地域の実践者とともにリサーチプログラムを実施しています。

2026年10月23日（金）

◆11:30 JR 敦賀駅集合 貸切バスでツアーをスタートします。

◆11:45-12:15 氣比神宮 ～日本三大木造大鳥居で知られる北陸道総鎮守～

宮司のご案内で氣比神宮を参拝します。天然の良港を持つ敦賀は、古くから大陸との交流の玄関口となる要衝でした。和紙、漆器、刃物など、現在の北陸を代表する工芸につながる文化や技術も、大陸との交流を通して伝わったといわれています。まずはこの土地の長い歴史から、敦賀を読み解きます。

◆12:30-13:15 昼食

敦賀ならではの越前おろしそばと鯖寿司を楽しんでいただきます。

◆13:30-14:00 早翠（さみどり）幼稚園

～ある幼稚園から始まった、ジャクエツのものづくり～

1916 年設立。幼稚園で使用する教材を自らつくり始めたことが、現在のジャクエツへとつながっていきました。100 年以上にわたり子どもたちの育ちを見つめてきた場所から、ジャクエツの原点を探ります。

◆14:15-17:15 ジャクエツ本社「JAKUETS PLAYFUL CAMPUS」

ファクトリーツアー～「あそび」は、どうデザインされるのか？～

今回のリサーチの核となる時間です。

○佐藤卓さんのレクチャー

ジャクエツロゴや富山県美術館「オノマトペの屋上」などの事例を中心に、デザインの読み解きます。

○ファクトリーツアー

- ・ディーター・ラムスコレクション～徳本社長のお話し～
- ・あそびをつくる、職人との対話
- ・あそびをデザインする、デザイナーとの対話
- ・アーカイブ、スケッチブック作りワークショップ

○佐藤卓さんを囲む茶話会

佐藤卓さんとお話ししながら、デザインについて参加者全員で考えます

◆ 17:35 敦賀駅到着

敦賀名物のお弁当をお渡しします。お帰りの車中でどうぞ。

過去（2026 年 8 月 26 日山梨ツアー）の参加者の声

「このツアー自体が「DESIGN MUSEUM」だと思いました。箱や物にこだわら

ず、場や人に根づくもの、目に見えないものまで感じることができました。」

「参加者の皆さんとの何気ない意見交換がとても心に残りました。」

「土地や素材、そこにあるものを残すこと、作ることを意味を味わって考えさせられるプログラムでした。」

佐藤卓（本プログラム参加）

1979 年東京藝術大学デザイン科卒業、1981 年同大学院修了。株式会社電通を経て、1984 年佐藤卓デザイン事務所（現 株式会社 TSDO）設立。

「ニッカウヰスキー ピュアモルト」の商品開発から始まり、「ロッテ キシリトールガム」、「明治おいしい牛乳」のパッケージデザイン、「PLEATS PLEASE ISSEY MIYAKE」のグラフィックデザイン、「金沢 21 世紀美術館」、「国立科学博物館」、「全国高等学校野球選手権大会」のシンボルマークデザインなどを手掛ける。また、NHK E テレ「にほんごであそぼ」アートディレクター、「デザインあ」総合指導、21_21 DESIGN SIGHT 館長、京都芸術大学学長を務めるなど多岐にわたって活動。

こんな方に参加していただきたいプログラムです

- ・デザインやものづくりに関心のある方
- ・地域に根ざした文化や産業に関心のある方
- ・第一線のデザイナーの視点に触れたい方
- ・通常の観光では出会えない場所や人を訪ねたい方
- ・将来の「日本のデザインミュージアム」設立をともに考えてくださる方

デザインの専門家である必要はありません。

さまざまなバックグラウンドを持つ 15 名が、同じ場所を見て、話を聞き、それぞれの視点を持ち寄ることも、このプログラムの大切な要素です。

Design-DESIGN MUSEUM が目指すもの

一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM は、三宅一生氏と青柳正規氏が 2012 年に発した「国立デザイン美術館を作ろう」という志を受け継ぎ、2019 年に設立されました。私たちが目指しているのは、巨大な一つの建物にすべてを集めることだけではありません。

日本各地の〈デザインの宝物〉を所蔵する館や組織をネットワークし、その集合体を〈デザインミュージアム〉とする。

日本全体が〈デザインミュージアム〉になる、という提案です。シンポジウムやテレビ番組、展覧会の企画、デザインアーカイブのプロトタイプ構築などを通して、「どんなデザインミュージアムがあればよいのか」を考えるプロセスそのものを公開しながら、設立に向けた活動を続けています。

DESIGN MUSEUM JAPAN TOUR も、そのためのリサーチの一つです。デザインに関心の高い参加者の皆さまと日本各地を訪ね、まだ知られていない〈デザインの宝物〉を見つけ、その価値を考える。

そして、ツアーで生まれたつながりを一度きりのものにせず、将来の「日本のデザインミュージアム」をともに考える仲間へとつなげていきたいと考えています。

開催概要

DESIGN MUSEUM JAPAN TOUR in 福井・敦賀

佐藤卓と巡る、福井・敦賀を読み解くデザインリサーチプログラム

開催日：2026 年 10 月 23 日（金）

定員：15 名

参加費：55,000 円（税込）

特典：佐藤卓氏がデザインした遊具を写真家・藤井保氏が撮り下ろし、佐々木寿信氏の詩を添えた非売品の写真集『YUUGU 2』をお渡しいたします。

佐藤卓氏に加え、一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM より、代表理事・倉森京子、理事・上嶋萌、河瀬大作、齋藤精一、廣嶋まいが同行予定です。

本プログラムの収益の一部は、一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM への寄付となります。

主 催：一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM

共 催：株式会社ジャクエツ

旅行実施：株式会社日本旅行福井支店

お問合せ：一般社団法人 Design-DESIGN MUSEUM

E-mail：info@designmuseum.jp

お申込み：株式会社日本旅行福井支店 営業時間 9:30～17:30・土日祝定休

E-mail：fukui_tis@nta.co.jp

お申込みサイト URL：

https://va.apollon.nta.co.jp/design_fukui2026/

申込締切 10月9日（金）15時まで